

Newsletter

『外国にルーツをもつ学生の「働き方」発見セミナー』を開催します！
～さぽうと21 第49回 夏期研修会～

今年のテーマは...『働くこと』

今年も新しい支援生を迎え、60名ほどが参加する第49回夏期研修会が行われます。

『働くこと』をテーマに据えた今年度は、それぞれの業界、職場でいきいきと仕事をする職業人10名程にお越しいただき、支援生に語りかけてもらい、また悩みにこたえてもらいたいと思っています。

夏期研修会のプログラム:

2015年8月6日(木)～8月7日(金) 1泊2日

※宿泊：東京スポーツ文化館（東京都江東区夢の島2-1-3）

◆1日目：「外国にルーツをもつ学生の「働き方」発見
セミナー ～色々な職業を知ろう!～」

※東京ウィメンズプラザ（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

◆2日目：「自己理解ワークショップ！」

※ 東京スポーツ文化館（東京都江東区夢の島2-1-3）

学生たちが広く職業を知る、また「はたらく」事について、より深く考え始めるきっかけを提供したいと考えており、以下様々な職業分野の方々に来ていただく予定です。支援生は、自分の興味・関心のある分野を選び、職業人にお話を聞かせてもらいます。

当日お越しくくださる方々の職業分野

金融、IT・通信、商社、観光、美容、不動産、
教育、研究職、国際協力、NGO／NPO など。

ご都合が合えば、ぜひ見学にいらしてください。

夏期研修会に参加する高校生たちから取った事前アンケートでは次のような回答もありました。実際の業務内容や業界の動きなどを伺い、将来の目標が具体的に见えてくることを目指しております。

卒業後は、就職・進学（専門・短大・大学）・未定
 なりたい職業が、ある（具体的に：保育士・アドバイザー・PT・江）教師・ない
 社会人に聞いてみたいこと（高1・2・3で絶対や、やばいことは）

卒業後は、 就職 ・ 進学（専門・短大・大学） ・ 未定
 になりたい職業が、 ある（具体的に：貿易業） ・ ない
 社会人に関いてみたいこと （国際関係の仕事について学びたいことや、就職先があること）

卒業後は、就職・進学（専門・短大・大学）・未定
 になりたい職業が、ある（具体的に：）・ない
 社会人に聞いてみたいこと（今の職業を辞めたいわけ）



去年は進路選択について、大学院生の先輩のお話を聞きました

60名、今年の支援生の顔ぶれも個性豊かです！

日本全国からご応募があった生活支援プログラムの選考が終わり、今年は11の国にルーツを持つ生活支援生51名と、坪井支援生9名を支援生として迎えることになりました。今年も皆さまのお力添えのおかげで支援を継続できますこと、心より御礼申し上げます。

国籍	人数	学校
アルゼンチン	1名	大学院1名
カンボジア	2名	短大1名、大学1名
中国	5名	高校4名、大学1名
ナイジェリア	2名	短大1名、大学1名
ブラジル	7名	高校3名、大学3名、大学院1名
ベトナム	21名	高校11名、専門2名、短大1名、大学6名 大学院1名
ペルー	8名	高校1名、専門1名、大学5名、大学院1名
ミャンマー	3名	高校3名
無国籍、日本に帰化（元カンボジア、元中国、元ベトナム）など	11名	高校4名、専門1名、大学3名、大学院3名

生活支援プログラム

高校生・専門学校生・大学生対象
支援生：51名
支給年額：7,510,000円（予定）

坪井一郎・仁子学生支援プログラム

大学生（3年次以上）・大学院生対象
支援生：9名
支給年額：6,120,000円（予定）

3ページ目に記載の「Ready for? プロジェクト」により支援が決定した高校生5名も、上記数字に含まれます。

次号のニュースレターで、写真を交えて支援生たちの様子をお伝えいたします。

5月31日未明、2014年度生活支援生の高校2年生（ベトナム出身）が髄膜炎のため逝去しました。ご葬儀は生まれ育った団地の中で行われました。
16歳で突然旅立ってしまった彼女のご冥福を、当会一同心よりお祈りいたします。

「生活支援プログラム」支援生エッセイ

将来の夢は IT の専門家

高校2年生（ルーツ：ベトナム）

僕が将来進みたいと思っているのはIT業界です。その中で関心がある仕事が2つあり、将来そのどちらかになれればいいなと思っています。その2つは、プログラマとシステムエンジニアです。

1つ目のプログラマは、作るものによっていろいろな分野に分かれていて、僕はその中でもモバイルアプリケーションを作るプログラマに関心を持ちました。中学3年生の時、スマートフォンでアプリを使っている時に、「もっとこんな機能があればいいな」と思ったのがきっかけでアプリを作るのに興味を持ち、プログラミングのことを知り、自分で少しやってみました。でも、やっぱり難しくてすぐ諦めてしまいました。その時に、見学

した高校の情報処理科でプログラミングが学べることを聞いて、その学校に行きたい、将来はアプリを作る仕事に就きたいと思いました。

2つ目のシステムエンジニア（SE）の仕事はプログラムの設計や保守やテスト、運用管理などです。なぜSEに関心を持ったかということ、SEは、ソフトやアプリを作る上で絶対に必要な人です。僕は、設計や運用などに興味があります。そして、去年の夏期研修の相談ブースで先輩の支援生からSEの事を聞いてもっと興味を持ちました。

2つのどちらかの職に就くためにこれからも資格や国家試験、学校の勉強を頑張っていきたいと思います。

3名の専門学校生誕生～学習支援室から～

毎週土曜日午後2時。朝からにぎわい続ける学習室ですが、その1日の中でも、最も人口密度が高くなる時間です。5月に事務所が6階に移転し、ずいぶん学習スペースが広がったと喜んでいましたが、日本語能力試験対策のグループ授業が行われ、学校の授業や行事で到着が遅くなった小中高生も支援室に駆けつけるこの時間、支援室は「満杯」の状態です。時には、親と喧嘩したのか不機嫌な顔の子どもも見られますが、この「満杯状態」の空間は、学ぶことの喜びや楽しさを肌で感じる現場です。

この学びの現場を通過して、この春、3名が「専門学校」に進みました。

A君は、中学校2年生からの日本生活スタートでした。

日本語がほとんど分からなかった来日直後からさぼりと21に通い、高校受験。そして、この春、高校卒業と同時に、建築を学ぶために専門学校に入りました。卒業時に2級建築士の試験に合格することが今の大きな目標です。

Bさんは来日からたった2年半の間に、日本語能力試験N1にも合格。通信制高校での単位取得と高卒認定試験の合格により、無事に高卒資格を得ることがで



今日も“満員御礼”

きました。そして、この春、歯科衛生士となるべく専門学校に入学しました。来日以来、毎週土曜日10時から6時まで、ほとんど休憩もとらずに勉強していたBさんの姿が本当に懐かしく思い出されます。

Cさんは日本生まれ。インターネットで自分が勉強できる場所はないかと検索し、ちょうど1年ぐらい前のある日、支援室を訪ねてきました。高校3年生でした。一時期は、経済的な問題もあり、高卒後の進学そのものをあきらめようかと考えてもいましたが、迷いに迷った末に、旅行関係の専門学校への進学を決めました。

年齢も、つながる国も、支援室に至る経緯も異なる3人ですが、今、3人とも学費も日常生活費もアルバイトで賄い、自身の選択した道で、日々真摯に新たな学びに挑戦しています。学ぶために、そして自活していくために、学費の安い夜間部の専門学校を選んだ3人に心からの祝福を送りたいと思います。

2年後、3年後、外国につながる彼らが、建築士として、歯科衛生士として、ツアーコンダクターとして、ごく普通に私たちの身近なところで仕事に就いてくれていることを心待ちにしています。

「学ぶことで日本社会とつながる」・・・ホームページリニューアルの時に掲げたキャッチフレーズです。毎週土曜日が来ると、この言葉が自然に頭に浮かびます。学習支援室に参加することで、学習者のみならずボランティアもスタッフも、学びにつながり、日本社会につながっていることを実感します。

祝！ READY FOR? プロジェクト 達成率151 % ～ 外国につながる高校生の追加支援が決定しました！ ～

「あと5名の高校生を追加で支援したい」という思いから、READY FOR? というインターネットサービスを通じてご支援を呼びかけました。

大変有り難いことに、70名を超える方々のお気持ちにより、90万7千円（達成率151%）ものご寄付が集まりました！

ご支援くださった皆さま、プロジェクト達成を見守ってくださった皆さま。

改めまして、心より御礼申し上げます。

先日、追加で支援できることになった学生への意思確認の面接を終えました。

5名の学生は、本年7月から来年の3月まで、「生活支援プログラム」による支援を受け、「夏期研修会」等の行事にも参加する予定です。

《 温かいメッセージと共に、70名以上の方にご支援いただきました 》



Nanci Lissa Miyagasakiさん 2015年05月08日 + 他に1個のプロジェクトを支援中！
わたしもお世話になりました！後輩たちに新しい道が開けていきますように。



mastyさん 2015年04月27日 + 他に4個のプロジェクトを支援中！
言葉や経済的なハンデに負けずに頑張ってください。こうして皆が応援して見守っていることも力になれば嬉しいです。



斎藤淑子さん 2015年04月26日 + 他に13個のプロジェクトを支援中！
能力を身につけられるような環境ができますように。



mayupecoさん 2015年05月03日
子供や青年達のせつかくの意欲や可能性を途絶えさせないように。私も貢献できればと思います。



Yoshioさん 2015年05月02日 + 他に1個のプロジェクトを支援中！
海外からも応援しています。



Newsletter

Support21 Social Welfare Foundation

Vol.57 2015.7

社会福祉法人 さぽうと21

理事長 吹浦 忠正

社会福祉法人さぽうと21は…

日本国内で生活するうえで困難をきたしている難民やその家族、在日外国人および元外国籍の人々の相談に乗り、また自立支援活動を行う社会福祉法人です。

認定NPO法人難民を助ける会(AAR JAPAN)を母体に、その国内事業を受け継ぎ、厚生省(当時)認可の社会福祉法人として1992年に設立されました。

「困った時はお互い様」をモットーに、日本国内で政治・宗教に中立な立場で活動しています。

学業継続のための経済支援を中心に、生活困窮者に対する幅広い生活支援を実施しております。

私たちの活動を応援してくださる方を求めています！

- 会 員：法人会費 50,000円
個人会費 5,000円

- ご寄付：随時受付

会費・ご寄付とも税法上の優遇措置が受けられます

◆会費・寄付のご送金口座◆

ゆうちょ銀行	振替口座：00180-7-25470 加入者名：社会福祉法人 さぽうと21 ※通信欄に会費または寄付とご明記ください
三井住友銀行	目黒支店(普) 851872 名義：社会福祉法人 さぽうとにじゅういち
みずほ銀行	目黒支店(普) 1180279 名義：社会福祉法人 さぽうとにじゅういち ※銀行振込み後は事務局までご一報ください

お問い合わせ

社会福祉法人 さぽうと21

住所：

〒141-0021
東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル6階

TEL：

03-5449-1331

FAX：

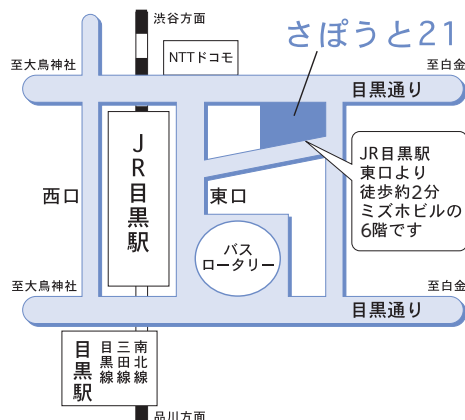
03-5449-1332

E-mail：

info@support21.or.jp

URL：

http://www.support21.or.jp



「さぽうと21マンスリーサポーター」募集中！ ～毎月定額、銀行引き落とし / クレジットカードでのご寄付～

生活支援プログラムや学習支援室の活動をさらに発展させ、年間を通じて一人ひとりへの支援をより深めるために、2015年度から新たに「マンスリーサポーター」としてご登録くださる支援者の方々を募集しております。

月々ご指定の金額(1000円・3000円・5000円・10000円など)を銀行引き落としやクレジットカードでご寄付いただくことができます。(随時登録、停止可能。送金手数料のご負担はございません。)ご関心をお持ちいただける場合は資料をお送りいたしますので、事務局までお問い合わせください。

(TEL: 03-5449-1331 担当：福田・中谷)

さぽうと21の姉妹団体、AAR Japan [難民を助ける会] がイベントを主催いたします

『Dance and Music for PEACE 〈真夏の夜のゆめ〉』

オペラと社交ダンスが融合したスーパー・ダンス・エンタテインメント、Dance and Music for PEACE 〈真夏の夜のゆめ〉が以下スケジュールで開催されます。

【日時】2015年8月22日(土) 午後5時開演

【会場】新国立劇場 オペラパレス(東京都渋谷区本町1-1-1)

【出演】デヴィ・スカルノ、加藤タキ、市川学、大島寿子、市川久他

イベントの詳細は、同封のチラシをご覧ください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

協力 社会福祉法人さぽうと21

お問合せ AAR Japan [難民を助ける会] / TEL: 03-5423-4511

リニューアルした事務所にて 皆さまをお待ちしています

この度、私たちのオフィスは同ミズホビル内の3階から6階へ移転いたしました。内装工事もようやく終わり、広々としたきれいなオフィスに生まれかわりました。

お近くまでいらした際には、是非お越しくださいませ。